

八幡平市立病院開院あいさつ

八幡平市長

田村 正彦



このたび、建設を進めておりました八幡平市立病院が完成の運びとなり、関係者の方々のご支援、ご協力の賜物であることに、深く感謝申し上げます。

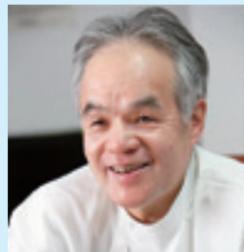
昭和50年に建設された西根病院は老朽化が激しく、度重なる増改築により動線が複雑化するなど患者サービスの低下と維持管理経費の増大が問題でした。このことから建設に当たっては、西根病院の経営理念である「心のかよう医療サービスの提供」と「各部門間の連携によるチーム医療の実践」を念頭に置きながら、安全で質の高い医療を提供する病院、快適で利便性が高い病院、信頼される病院、将来に備えて拡張性がある病院、職員が働きやすい病院、経済性を考慮した病院、環境に配慮した病院の7つの基本方針を掲げ整備を進めてまいりました。

新病院の特徴は、感染症に配慮した動線を確保したほか、人工透析室の増床(8床)を行ったことです。また利用者が雨に濡れないように駅から病院までの動線に屋根を設置しております。建物の給湯・冷暖房には、地中熱を利用しており、環境にも配慮した病院となっております。

今後も他の医療機関と連携を図りながら、地域の中核病院として医療の充実に取り組んで参りますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

八幡平市病院事業管理者

望月 泉



このたび、建設を進めておりました新病院、名称も変更し八幡平市立病院が完成の運びとなりました。関係者皆様方のご支援ご協力に対しまして心から御礼申し上げます。

新病院はJR花輪線大更駅に隣接し、ヘリポートの整備、最新医療機器(MRI、CT)の導入、人工透析室の拡充、給湯及び冷暖房設備に地中熱を活用することにより化石燃料を使用しないCO₂排出ゼロを実現する自然環境に優しい病院を建設しました。診療科は内科、外科、整形外科・リウマチ科、小児科の4科が常設、さらに専門診療科として糖尿病内科、耳鼻科、循環器内科、心臓・血管外科、血液内科、神経内科が専門医の派遣を受け診療しています。人工透析機器台数は2台から8台に大幅に増強、透析治療を必要とする市内の患者さんに通院にかかる身体的疲労や経済的負担の少ない医療環境を提供することが可能となりました。また発熱患者さんに専用の診察室を作り、一般の患者さんとは動線を別にし、安心して受診していただけるようにしました。

入院病床60床のうち36床を地域包括ケア病床とし、良質なリハビリテーションを提供、医療介護連携を強化し在宅復帰を目指すと同時に、緩和ケア病床2床を開設します。

新たな八幡平市立病院が地域住民に良質な医療を提供し、地域の皆様に親しまれながら八幡平市及び盛岡西北域の地域医療を担える病院となれるよう、職員一同努力していく所存ですので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市立病院が開院

昭和50(1975)年5月完成から令和2年7月までの45年にわたり、地域医療を支えてきた西根病院が移転新築し、名称を「八幡平市立病院」に変え、8月3日から診療を開始しました。

本号では市立病院を徹底解剖します。施設や設備、診療体制などを紹介。地域医療の中核を担い、地域住民から親しまれる病院づくりの第一歩を特集します。



【問い合わせ先】 八幡平市立病院
住所 ①028-7111 大更第25地割328番地1
電話 76-3111 ファクス 76-3113
メール byoin@city.hachimantai.lg.jp



▲リハビリテーション室を見学する落成式出席者
▶テープカットで落成を祝う(左から)達増知事、田村市長、望月病院事業管理者



■落成祝い、市民にお披露目
西根病院の老朽化に伴い、移転新築工事を進めていた八幡平市立病院がこのほど完成し、7月18日に現地で落成式を行いました。式には県や市の関係者、医療従事者、建設などに携わった業者ら約40人が出席し、テープカットで落成を祝いました。望月泉病院事業管理者は「地域住民に親しまれながら、地域医療を担っていききたい」とあいさつし、気持ちを高めました。式では建設に携わった6社を代表して、日本国土開発株式会社盛岡営業所に田村正彦市長から感謝状が手渡されました。
同日午後と翌19日には内覧会を開催。新型コロナウイルス感染症対策でマスクを着用した市民ら635人(18日292人、19日343人)が内覧に訪れました。新病院を心待ちにした来場者は、案内する職員の話に耳を傾けながら施設内を回り、その目で確かめました。「きれいで設備が充実していた」「感染症などにも配慮し、動線がしっかりとっていた」「駅も近く駐車場も広いので、通いやすい」など、市立病院を拠点とした保健・医療の充実を期待を寄せる声が多く聞かれました。

市立病院の 特徴



③人工透析室を8床に増床し、透析患者の受け入れを強化



②高精度の検査を可能にするMRIを新たに導入



①感染症に配慮し、感染症用専用口、専用診察室を設置

(1) 安心・高度な医療サービスの提供

- ①感染症に配慮した動線の確保(感染症用専用口、専用診察室の設置)
- ②1.5テスラMRIおよび64列マルチスライスCT(シーメンスヘルスケア社製)の導入
- ③人工透析室を8床に増床



(2) 安全・快適な利用環境の提供

- ①利用者が雨に濡れずに駅から病院まで移動できる屋根付きの連絡通路を設置
- ②総合待合・中待合を増設
- ③患者用駐車場収容台数の増設(84台、うち身障者用5台)
- ④個室(特別室2床、一般個室8床、観察室2床)、2人部屋、4人部屋 ※特別室には、洗面台、トイレ・シャワー室、応接セットなどを完備



①雨に濡れずに駅から病院まで移動できる屋根付き連絡通路



②待ち時間にストレスを感じないよう総合待合・中待合を増設



③収容台数を増やし、車を止められない心配が無くなった駐車場



④洗面台、トイレ・シャワー室、応接セットなどを完備した特別室

診療内容 と医師の紹介

■ 診療受付時間

午前 8:30～11:30
午後 2:00～4:30

■ 休診日

土曜・日曜・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)

■ 通常外来

診療科目	診療日時
内科	(月)～(金)午前・午後
外科	(月)～(金)午前・午後
整形外科・リウマチ科	(月)～(金)午前・午後 第1、3、5週(木)は休診
小児科	(月)・(水)・(木)・(金)午前・午後

■ 専門外来

診療科目	診療日時
糖尿病内科	(火)午前
耳鼻科	(水)午前
循環器内科	第2、4週(水)10:00～
心臓・血管外科	第2、4週(木)午前
血液内科	奇数月の第3週(水)午後
神経内科	第3週(木)午後

各部門の連携によるチーム医療を实践
心のかよう医療サービスを提供します



望月 泉 統括院長【外科】

梶原 隆 副院長【内科】

瀧山 郁雄 院長【外科】

佐々木 喜子 外科医長
【整形外科・リウマチ科】

玉山 慶彦 医師【内科】

■ 主な変更点

- 1 市立病院のバス停を追加
- 2 平笠・田頭路線の変更 八幡平営業所発→平笠→田頭→(※追加)市立病院→平笠→市役所→平笠→大更→おらほの温泉着
- 3 幹線バス(市立病院→兄畑駅)の時刻変更 市立病院からの帰りの便の出发時刻を1時間半ほど遅くし、市内での買い物や病院の診察時間の確保を図り、利便性を高めました。

八幡平市立病院の開院に伴い、8月3日から西根・松尾地区を運行するコミュニティバスと幹線バスの停留所に「八幡平市立病院」を追加しました。これに伴い、運行経路や時刻が変更となっています。詳しくは、7月9日の行政連絡員回りで配布した「コミュニティバス時刻表&マップ」を確認してください。

コミュニティバスと幹線バス
運行時刻の変更で
利便性 UP



本施設で採用している地中熱設備は、施設の空調・給湯設備に利用をしています。

東側駐車場下に地中熱収集用の「ボアホール方式(図1)」という熱交換用の配管を敷設し、掘削の深さ

■ 市立病院の設備

年間を通して温度がほぼ一定な地中の温度は、外気と比較して夏は冷たく、冬は暖かい特性があり、安定した地中の熱エネルギーを冷暖房や給湯に有効利用できる設備で、市役所でもこの設備を使っています。

地中熱は再生可能エネルギーのため、化石燃料に比べ省エネ・二酸化炭素排出抑制にもなり、昨今の地球温暖化防止への取り組みにも貢献しています。

また、空気を熱源とするヒートポンプ機器は、効率の落ちてしまう寒冷地でも、一年中安定した地中から熱をもらうことができるため、高効率な暖房運転が可能です。

が1000坪のボアホールを1200本設置しています。

また、病棟下の地中にも「水平ループ方式(図2)」という配管を敷設し、敷地を有効利用することも積極的に再生可能エネルギーである地中熱を利用しています。

地中熱を利用している施設としては国内最大級の規模で、省エネに取り組んでいます。

図2 水平ループ方式

敷地内の地中1.0~2.5mの浅い層に熱交換用のチューブを水平に埋設し、採熱する方法

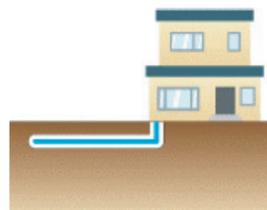


図1 ボアホール方式

敷地内に総長で100~150mのボーリングをし、熱交換用のチューブを入れる一般的な採熱方法



八幡平市立病院新築事業の概要

1 施設概要

- (1)敷地面積 19,763.34平方m
- (2)病院棟
 - ▶構造と階数:鉄筋コンクリート造2階建ておよび木造平屋建て
 - ▶延べ面積:6,313.26平方m(鉄筋コンクリート造部分:4,415.05平方m、木造部分:1,898.21平方m)
- (3)その他附属棟など 地中熱機械室棟、車イス用駐車場、車庫・倉庫棟、医師住宅
- (4)診療科 内科、外科、小児科、整形外科・リウマチ科
- (5)病床数 一般病床60床(うち地域包括ケア病床36床)

2 工期

平成30年3月9日から令和2年3月19日まで

3 工事概算

43億7,377万円(内訳:用地取得費・物件移転補償費...4,804万円、設計管理費...1億5,479万円、工事費...41億7,094万円)

4 財源内訳

- ▶二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金...3億6,677万円
- ▶国保調整交付金...5,565万円
- ▶地方債(病院事業債)...25億9,970万円
- ▶一般会計出資金など...13億5,165万円

5 経過

平成25年3月

・西根病院あり方検討委員会から病院施設整備についての報告書提出

平成26年11月

・八幡平市国民健康保険西根病院病院施設整備基本計画策定

平成27年4月1日

・設計業務

平成28年7月7日

・造成工事

平成29年3月24日

12月15日

平成30年3月9日

4月3日

・新築工事

・安全祈願祭

令和2年3月19日

7月18日

7月19日

8月1日

8月3日

・引渡し式
・落成式
・内覧会
・開院
・外来診療開始